

目標達成計画

作成日：平成24年1月17日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	身体・経済的虐待にとどまらず「言葉による虐待」と思われる恐れのある言葉遣いを抑制したい。	利用者との会話で言葉が汚い・横柄な言葉遣い・大きな声は、利用者への「敬意」欠落の表れとされますので、敬意を持ってお世話をしたい。	①チームケアに努め、決して個人の思い込みで利用者には接しない。②利用者を個人としての尊重・尊厳を守り、常に敬意の念を持って接する。③事業所内外の研修等に積極的に参加・受講する。	12ヶ月
2	36	利用者さんに命令的な指示をしている職員がいる。	家族の家「倫理綱領」の熟知と実践により、利用者「個人としての尊厳」及び当施設理念の達成を求める。	毎月の職場会議テーマの一つに取り上げ、全職員でこの問題について考える。また、事業所内外の研修等に積極的に参加・受講を促す。	6ヶ月
3	35	避難訓練はより実践・具体的に計画し、職員に留まる事なく地域住民等の協力が得られるように努力しなければならない。	年2回実施する避難訓練に、少なくとも1回は消防署・地域住民の方の協力を依頼する。	区長・区の防災委員等及び消防署の指導を仰ぎより具体的・実践的な方法を事前提案・協力そして参加をお願いしていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。